



地域の概要及び課題

【資源】

- ・ 福良湾の美しい自然環境によるトラフグやサクラマス等がブランドであり、南あわじ市沿岸部では、ノリ・ワカメの養殖を実施
- ・ 南部には、観光名所（鳴門海峡）が存在

【課題】

- ・ 磯焼けの進行による藻場の減少や漁業者の担い手不足
- ・ アマモ移植技術等の専門知識不足や地域内連携体制の構築が必要

保全と活用の好循環形成に向けた将来ビジョン

大学・民間企業と連携した藻場保全

活動の発信による理解醸成

次世代を担う子供達への環境教育を通じた意識醸成

ブルーカーボンプレジットや自然共生サイト認定による活動資金確保

住民や周辺企業、漁業者の理解醸成・活動に関わってもらうきっかけづくり

淡路島
兵庫県南あわじ市



R5年度モデル事業における取組内容および成果

藻場再生のためのアマモ移植

- ・ 藻場再生のためのアマモ移植の実施



【成果】

漁業者、地域小学生との連携によりアマモの株移植を実施。移植1か月後のモニタリング調査では、アマモの生育が確認された。

ワークショップの実施

- ・ 小学生を対象にしたワークショップを実施



【成果】

小学生を対象としたワークショップを通じて、子供達にアマモ場の重要性や地域の自然を大切にする気持ちの醸成につながった。

ウェブサイトの構築

- ・ 取組の情報発信のためのウェブサイトの構築



【成果】

ウェブサイトにおいてワークショップの開催案内や実施報告等の情報発信が可能となり、取組を実施するにあたっての情報発信・共有の場が構築された。

好循環形成ビジョン検討

- ・ ブルーカーボンネットワークの構築
気候変動 × 漁業 × 観光 × 環境教育



【成果】

行政、漁協、学識者等のネットワークの構築により、情報共有をするとともに今後の取組の展開について議論がなされた。

今後の課題および 取組方針

- ・ ワークショップ等の環境学習については、今後、大学連携も視野に入れて、検討・連携体制を構築していく。
- ・ 活動の継続にあたって、活動場所の調整に課題があるため、今後は他海域への展開も視野に検討していく。